



園だより

文京区立第一幼稚園
令和4年度 10月号

URL <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/dai1-kg/>

心が動き体が動くなかで

副園長 工藤 真規子

爽やかな気候になり、園庭や屋上で遊ぶ幼児の姿が増えてきました。体を動かして遊ぶのに気持ちのよいこの季節、土の庭、緑の庭いっぱい遊びが広がっています。

今年も感染症対策のため、規模としては運動会を縮小した形での『スポーツデー』の開催ですが、各学年の内容は幼児の体の発達や心の成長に大切なことが経験できるように進めています。近隣の皆様には毎日の活動でお騒がせしておりますが、ご理解いただきありがとうございます。

今年の年長組のリズム表現のラストはパラバルーンです。パラグライダーのようなカラフルな布地を持って、回転したり膨らませたりします。練習を始めて最初の頃はみんなで触って動かすこと自体が楽しかったのですが、音楽に合わせて様々な「技」をつないでいく段階になると難しく、思ったようにできない日もありました。そんな時でも諦めたり嫌になったりせず、「もう一回やってみよう」とトライします。担任が「次はここに気を付けてみよう」と伝えると、皆がそこに気持ちを合わせて動きを揃えていきます。一つ一つ課題に向かっていく中で、「今日はこれが成功した！」と日々、手応えを確かにしていました。

年中組のリズム表現は、チョウやバッタ、カブトムシ、カマキリたちが登場し、サンバのリズムに合わせて「オーレイ！」の音が響く、元気で楽しい踊りです。リズムに乗って心も体も弾んでいます！一人一人の「好き！」がたくさん詰まった表現や動きが集まると大きなパワーになることを実感しています。

年少組は、かわいらしいヒヨコになって踊ります。「電車になって走りたい！」という子のために、電車になってぐるぐる走ったりもします。「思い切り動きたい」という気持ちや、「ヒヨコやウサギになって楽しい」という気持ちを受け止めながら、手を伸ばす、跳ねる、大きく歩くなど基本的な体の動きが経験できるようにしています。

一学年ごとにできる動きが格段に増えるとともに、気持ちの面でも大きな成長が見られます。楽しさだけでなく、友達と一緒に力を合わせたり考えたりして取り組み、「難しい」「悔しい」といった気持ちを味わったりそれを乗り越えようとしたりしています。

幼児期は、体を動かすことと心身の発達が密接に関連しています。幼稚園の行事は当日で終わりではなく、その後の生活に続いていきます。スポーツデーを通して「好き」が増えること、自分にとっての自信になることで、様々なことに取り組む力や意欲となり、生活が充実していきます。

体育館での開催は園児と観客の距離が近く、保護者の方々のまなざしや拍手が大きな力になると思います。一人一人のその子らしさや頑張り、学級のよさなどをたくさん見付けて、子供たちみんなをこれからも応援していただけたらと思います。

